

三國 宏

木之本ライオンズクラブに入会以来もつづく二〇年、会計、幹事、会長を経験させて頂き、広く皆様にお付き合ひ願える事はライオンズがあつて私があると思つています。

中川 顕

どんなことから、どんな人からも謙虚に素直に学びたい。学心(素直な心)さえあれば、万物すべてこれ我が師である。

中村喜隆

私が中学一年生の時に木之本ライオンズクラブのCNの記念式典に家族メンバーとして参加した事を思い出しました。

中筋光芳

経済状況がきびしい時こそ、お金より地道な活動と、会員相互の力の結集が必要だと思います。

中谷寿雄

「CN四〇周年」を迎えるにあたり、長きに亘る諸先輩のご苦労に感謝し、輝く四〇周年を基に、今後益々の飛躍を。

西村豊和

木之本LCの奉仕の精神は、地域のリーダーとして五年十年先の伊香郡を考え、合併後

にも長浜と均衡のとれた地域である事を目指すべきである。

奥平吉照

私は新入会員です。ともかく、ライオンズの道徳綱領に対して、自己の具体的な目標を決めてやっています。

大林利男

クラブの歴史は年月が作るが、伝統は、古きものの中から時代に相応した内容によって作られます。すばらしい伝統を作ろう。

大橋英一

CN四〇周年、毎回すばらしい周年事業が行われています。今回も全員、力を合わせてすばらしいCN四〇周年を成功させましょう。

千田定剛

当クラブ満四〇年・役に立つ(厄年)年をむかえ汗を流すACTで、地域社会にますます協力を増やすことが出来たら。

柴田 真

湖北の豊かな自然と共に。文化活動、経済の発展、幸せな人生、ライオンズメンバーと共に考えたいな。



柴田丈夫

四十周年をむかえて、現在厳しい社会情勢の中で、私達尊いライオンズムの精神を忘れず、クラブ運営に基づき一層の事業の促進を期待いたします。

竹中一雄

CN三〇周年記念式典の準備中に阪神・淡路の大震災、式典実施の是非につき、田中達雄委員長以下その対応に苦慮しました。

竹中滋祥

先輩諸氏が築かれた輝かしい歴史と伝統の中で、微力ながら地域への奉仕・貢献ができることを誇りに思います。

田辺茂樹

入会するには会員としての資質が厳しく問われるようだ。先に入っておいてよかった。坊主頭もこれが有難く感謝の日々。

田中達雄

一九六四年六月二十一日メンバー十九名にて木之本ライオンズクラブを結成、当時の事を思い出し初心に返る事が出来ればと思つ。

谷口武男

ライオンズの最大の義務『例会出席』自分の目標は八五%以上に設定。

谷口安志

チャーターメンバー四〇才。私は三〇才。光陰矢の如し、三〇代四〇代の入会者が欲しい。

徳田大蔵

結成された六四年は東京オリピックが開催。もう四〇年なのか。これからも「自然を大切に」共存共栄をめざしたい。

上杉貞浩

無遅刻・無欠席を目指して頑張りたいと思つています。

上杉貞信

入会させていただいて丸二年になろうとしています。今持つて十分にクラブの事、理解出来ませんが、ガンバルゾーです。

脇坂宇市

長い歴史のあるクラブが伝統を守りこの年を迎えることに大変意義深いものがあり名誉なこと。今後は原点を見つめ一層の躍進を願つ。



八木富士夫

四〇年とは！すごいことだと思つています。いまだ現役のチャーターメンバーの方に当時の熱い思いを是非うかがいたいものです。



山口 巖

身体も元気で家族も元気。親も仲間も皆元気、好きなお酒も毎日飲める、地域に奉仕も少しは出来る。天下太平なれど何がが足りぬ。

安井一清

会員となり八年目、健診に携り六年。介護認定審査委員四年。今後、更に社会奉仕、医療、福祉に全力投球。何卒御指導の程。

吉田 茂

記念すべき時期に本会に身を置く喜びを噛み締め、「創業は易く守成は難し」の言葉を教訓にしっかりと精進してまいりたい。

吉川信弘

私が入会させて頂いてまだ数年です。四〇周年という長い年月を続けてこられた先輩方の凄さを感じます。私には到底無理でしょう！



広報委員長を受けて

実を申し上げますと、広報は何をすれば良いのかとても不安でした。とにかく自分でやれることを考え、原稿を簡素化し、読む人にわかりやすく、活字を大きくそれに空間を作ることで見やすくしたいと思つました。

木之本ライオンズクラブの皆様にお願ひします。それは、クラブ活動、あるいは一般社会の中で、こんな事が楽しかった、変つていった、いつもと違うな、どユニークな御意見、御希望を事務局へお送り下さい。お待ちしております。

広報委員会は木之本ライオンズクラブの皆様と共に、より楽しい「七本槍」にしていきたいと思つています。御協力よろしくお願ひいたします。

北川 雅弘

広報情報 会報編集委員会

- 委員長 北川 雅弘
- 副委員長 安井 一清
- 委員 平井 清
- 委員 小久保義男
- 担当副会長 藤田 暢彦